

Claude・Claude Code・Claude Coworkの製品比較レポート

エグゼクティブサマリー

本レポートは、Anthropic ¹ が提供する **Claude (アプリ/サービス)**、**Claude Code (開発者向けエージェント)**、**Claude Cowork (知識労働向けエージェント)** (ユーザー表記「Co-work」は公式表記「Cowork」と同一製品として扱う) について、2026-03-25 時点の公開一次情報を中心に、機能・技術・導入・価格・統制の観点から比較した。主要結論は次のとおり。 ²

Claude は「会話中心の汎用アシスタント」で、画像/テキスト分析、Web検索、Research (複数検索+引用)、Artifacts (共有可能な成果物/UI)、Connectors (MCP含む)などを同一UIに統合し、個人の生産性とチーム協働の起点になる。 ³

Claude Code は「コードベースを読んで、編集し、コマンドを実行し、開発ツールと統合して“実装して終わらせる”ことを目的に設計された agentic coding 製品で、端末/IDE/デスクトップ/ブラウザ/Slack/CI/CD まで複数の実行面を持つ。権限・サンドボックス・クラウドVM分離・監査などの“実行統制”が設計の中心である。 ⁴

Claude Cowork は「非エンジニアの知識労働を、プロンプト単発ではなく“成果物納品”として自律実行する」ことに主眼があり、プロジェクト/メモリ/スケジュール実行/プラグイン (スキル+コネクタ+サブエージェント束ね)を通じて、反復業務を継続運用する思想が強い。一方で、Team/Enterprise でも監査ログやコンプライアンスAPIに Cowork 活動が載らないなど、統制面の制約が明確で、規制業務には不向きと公式に注意されている。 ⁵

モデルはAPI/プラットフォーム上で **Opus 4.6 / Sonnet 4.6 / Haiku 4.5** が主要ラインとして提示され、価格 (\$/MTok) も公式に明示されている。パラメータ数 (モデルサイズ) などの内部仕様は公開資料上で明記が見当たらないため、本レポートでは「不明」とする。 ⁶

導入形態は、(a) Claude アプリ/Anthropic 直の API、(b) クラウド経由 (Amazon Web Services ⁷ の Bedrock、Google ⁸ の Vertex AI、Microsoft ⁹ Foundry など) に大別され、オンプレ単独提供を示す一次情報は確認できない。データレジデンシ要件には「グローバル/リージョナル」エンドポイントや US-only 推論などの選択肢が用意されている。 ¹⁰

調査対象と評価軸

対象製品の定義 (本レポート) Claude : Web/iOS/Android/デスクトップ等の「Claude アプリ」を中心とした会話UI。Artifacts、Research、Connectors (MCP含む)、音声モード、シークレット/インコグニート等の機能群を含む。 ¹¹

Claude Code : コード作業向けに、リポジトリ理解→編集→実行→PR までを自律的に進められるエージェント。端末/IDE/デスクトップ/ブラウザ/Slack/CI/CDと統合。 ¹²

Claude Cowork：知識労働向けに、ファイル/コネクタ/（必要に応じて）コンピュータ操作を伴うマルチステップ作業を「成果物」として返すエージェント。スケジュール実行・プロジェクト・メモリ・プラグインを中核に、反復業務の運用を狙う。¹³

評価軸 機能（何ができるか）、技術能力（ツール実行・長文・安全策）、入出力モダリティ（テキスト/画像/音声/ファイル等）、モデル/バージョン、API/SDK と拡張性、統合（コネクタ/MCP/Slack 等）、セキュリティ/プライバシー統制（権限・保持・監査）、エンタープライズ機能、価格（公式+第三者/第三者プラットフォーム）、導入形態（クラウド/擬似オンプレ/ハイブリッド）を横並びで比較する。¹⁴

不明点の扱い モデルの「パラメータ数」など、公開一次情報に明示が見当たらない事項は Unknown として記載し、推測で埋めない（第三者推定は“参考”に留める）。¹⁵

製品別分析

Claude

位置づけ Claude は、日常の文章作成・分析・意思決定支援を「会話」と「成果物（Artifacts）」で回すことに最適化された“統合ワークUI”である。無料～Pro/Max、Team/Enterprise で機能と統制が段階的に増える。¹⁶

主要機能 会話UI（Web/iOS/Android/デスクトップ）に加え、画像/テキスト分析、Web検索、Research、Projects、Artifacts、コード実行を含むファイル作成/編集、Connectors、音声モード、インコグニート等がプラン比較表に並ぶ。¹⁷

Artifacts は「15行超の自己完結した文書/コード/HTML/SVG/図/React コンポーネント等」を別ウィンドウで扱い、DL/コピー/バージョン管理や、共有・AI内蔵アプリ（ユーザー側課金）まで含む設計になっている。¹⁸

Research は「複数検索を自律的に積み上げ、引用付きで返す」モードで、Web検索ONが前提。コネクタ（例：Google系）とWebの両方を横断して調べる。¹⁹

入力/出力モダリティ 入力：テキスト、画像、（UI機能としての）音声モード、ファイル/ドキュメント、コネクタ経由の社内情報（ユーザー許可範囲）。²⁰

出力：テキスト回答、Artifacts（文書/コード/図/ミニアプリ等）、Research の引用付きレポート、必要に応じたファイル生成。²¹

モデル/バージョン Claude アプリ上のモデル選択肢は Opus/Sonnet/Haiku 系（具体の“4.6/4.5”などは提供面で変動）で、API側では「Opus 4.6 / Sonnet 4.6 / Haiku 4.5」が主要として提示されている。²²

パラメータ数などのモデルサイズは公式資料に明記が見当たらないため不明。²³

API/SDK・統合 Claude アプリに加え、開発者向けには Claude API（Messages API 等）と、クライアント SDK（Python/TS/Go/Java/Ruby/PHP/C# 等）が提供される。²⁴

統合は Connectors と MCP を中核に、既成コネクタ/カスタムコネクタをディレクトリから追加でき、Web・デスクトップ・モバイルで活用できる（ただしモバイルでは“新規追加”は不可などUI制約あり）。²⁵

Slack²⁶ 統合は「Slack内で@Claudeとして使う」方式と「Slackコネクタとして検索コンテキスト化」方式の2本立てで、権限制御や下書き提示などの挙動が文書化されている。²⁷

セキュリティ/プライバシー統制 インコグニートは「履歴とメモリに保存されない一時会話」で、学習（model improvement）にも使われない。一方で安全目的の保持（例：30日）や、Team/Enterprise では組

織のデータエクスポート対象になり得る点が明記されている。²⁸

消費者向けのデータ学習は「ユーザーが改善利用を許可」「安全レビューでフラグ」「Trusted Tester等で明示的オプトイン」など条件付きで行われ得る。またコネクタの“生データ”は原則トレーニング対象外だが、会話へコピーした内容は含まれ得る。²⁹

最適ユースケース（例） 社内外情報の横断調査→引用付き要約（Research）、提案書/議事録/企画書などの草案→Artifactsで反復、画像を含む資料レビュー、コネクタを使ったSlack/メール/予定の文脈取り込み、チームでのナレッジ参照と意思決定支援。³⁰

制約・注意 Research は同じ会話上限でも多検索のため上限消費が速い。³¹

インコグニートはプロジェクト内では使えない等、運用設計に癖がある。²⁸

機密データ投入時は、プラン（消費者/商用）と設定（改善利用、インコグニート）で扱いが変わるため、組織ポリシーに合わせた運用が必要。³²

ワークフロー例（プロンプト例）

（目的）経営会議向けに、競合動向を“引用付きで”10分で把握したい。

あなたはリサーチアナリストです。

- Research を使い、重要な論点（市場規模/競合/価格/規制/技術トレンド）で調査してください
- 各主張に引用（出典）を付け、確度が低い点は不確実と明記してください
- 最後に「意思決定に必要な追加質問」を3つ提示してください

（Artifacts活用）この要件で、社内用の「チェックリスト+テンプレ（Markdown）」をArtifactsとして作って。

テンプレは、入力欄（背景/目的/スコープ/前提/リスク/次アクション）を含め、繰り返し使える形にする。

Claude Code

位置づけ Claude Code は「コードベースを読み、複数ファイルを編集し、コマンドを走らせ、開発ツールと統合して、実装タスクを終わらせる」ことを明示した agentic coding ツール。端末/IDE/デスクトップ/ブラウザで利用できる。³³

入力/出力モダリティ 入力：自然言語指示+ローカル/クラウド上のリポジトリ内容、CLI/IDE/Slack スレッド等の会話コンテキスト。³⁴

出力：コード差分、テスト実行ログ、要約、PR 作成（Web版やSlack連携で明示）。³⁵

技術能力と実行面（Surfaces） CLI：インストールして `claude` を起動し、編集/実行を進める。³⁶

Web版（Claude Code on the web）：タスク開始時にリポジトリを“Anthropic管理のVM”へクローンし、環境セットアップ→ネットワーク設定→実行→完了→PR準備、までの流れが明記されている。³⁷

Remote Control：ローカルで走っている Claude Code セッションを `claude.ai/code` やモバイルから継続操作できる。実行もファイルアクセスもローカルのままで、通信は TLS で API 経由、短命スコープ付き資格情報を使う。³⁸

Slack：チャンネル/スレッドで @Claude すると“コーディング意図”を判定し、必要なら Web版の Claude Code セッションを生成して進捗通知→完了ボタン（View Session / Create PR 等）へ導く。コンテキスト注入（他者メッセージ）を取り込むため「信頼できる会話で使う」注意が明示される。³⁹

ブラウザ自動化：Chrome/Edge 拡張と統合して、フォーム操作・デバッグ・データ抽出等をワークフローに組み込める（CAPTCHA等は手動介入）。⁴⁰

モデル/バージョン Claude Code 自体は製品面だが、推論は Claude モデル群を用いる。SDK/プラットフォーム側ではモデル名（例：claude-sonnet-4-6）を指定する。⁴¹

クラウドプロバイダ（Bedrock/Vertex/Foundry）経由の認証も公式にサポートされ、ゲートウェイ（LLM gateway）を介して API 形式互換で接続できる。その場合、ヘッダ転送要件などが機能可否に直結する。⁴² パラメータ数は不明（公開資料に明記なし）。²³

API/SDK・拡張 開発者向けの“Agent SDK”は「Claude Code をライブラリとして使い、ファイル/シェル/Web ツール込みでループをSDK側が回す」開発面として提示される。自社アプリ内に“Claude Code型エージェント”を組み込む選択肢になる。²⁴

MCP サーバ（自作/信頼できる提供元）を設定し、外部ツール/社内文脈を安全に接続できるが、MCP サーバ自体はAnthropicが監査/管理しない点が明記される。⁴³

セキュリティ/統制（Claude Code の中核） 権限：ツール単位（Bash/Read/Edit/WebFetch/MCP 等）やパス/ドメイン単位の deny/ask/allow を細かく設定でき、設定ファイルをリポジトリにチェックインして組織配布できる。フックで実行時評価（PreToolUse）も可能。⁴⁴

サンドボックス：bash 実行を OS レベルで隔離し、承認疲れを減らしながら境界内は自律実行させる設計。macOS（Seatbelt）/Linux（bubblewrap）/WSL2などで強制する。⁴⁵

クラウド実行（Web版）：Anthropic管理VMでの隔離、ネットワーク制御、GitHub 認証トークンを直接渡さないプロキシ、ランチ制約、監査ログ、自動クリーンアップ等が列挙される。⁴⁶

ゼロデータ保持（ZDR）：Enterprise 経由の Claude Code で、推論プロンプト/応答を原則保持しない運用が可能。ただし対象外機能（例：Cowork、claude.ai のチャット等）や、違反調査目的で最大2年保持の可能性など、例外も明記される。⁴⁷

最適ユースケース（例） 機能実装/不具合修正、リファクタリング、テスト追加、依存更新、複数リポジトリに跨る移行（Agent SDKや社内オーケストレーションと相性）、Slack からの“依頼→PR”運用、ブラウザ自動化を伴うE2E修正。⁴⁸

制約・注意 自律編集/実行は強力だが、承認疲れやプロンプトインジェクション等のリスクがある前提で、権限設定・サンドボックス・信頼できるMCP選定が推奨される。⁴⁹

Remote Control は claude.ai OAuth 前提で、APIキー認証では使えない等の制約がある。⁵⁰

ワークフロー例（プロンプト例）

（リポジトリ内）/src と /tests を中心に、次をやってください。

- 1) 変更方針を箇条書きで提示（Plan）
 - 2) 影響範囲を探索して根拠を示す（Explore）
 - 3) 最小差分で実装し、ユニットテストを追加
 - 4) ローカルでテストを実行し、失敗したら原因→修正を反復
 - 5) 最後にPR用の要約（変更点/リスク/確認方法）を作成
- 禁止：秘密鍵や認証情報の読み取り、外部への不用意な送信

（Web版/Slack運用）このSlackスレッドの要件に沿って、対象リポジトリで修正PRを作ってください。

- まずどのリポジトリ/ランチで作業するか確認し、不確かなら質問する

- 変更はdiffでレビュー可能な粒度にする
- 完了したら「テスト結果」と「ロールバック方法」を短く書く

Claude Cowork

位置づけ Cowork は「Claude Code のエージェント構造を、非エンジニアの知識労働に最適化してデスクトップに持ち込む」research preview として説明される。単発応答ではなく、複雑なマルチステップ作業を“代行”し、整形済み成果物（文書/スプレッドシート/整理済みファイル/調査まとめ等）を返す。 ⁵¹

入力/出力モダリティ 入力：成果物の要件（アウトカム）指示、フォルダ指定（ローカルファイルアクセス許可）、コネクタ/プラグインで繋いだ情報源、必要に応じてスマホからの Dispatch 指示。 ⁵²

出力：整形済みの納品物（スプレッドシート、メモ、比較表、PR等一タスク種別により Code/Cowork へ振り分け）、通知、スケジュール実行の結果。 ⁵³

技術能力（Cowork の特徴） ローカルファイルへ直接 read/write（手動アップロード不要）、サブエージェント並列、長時間タスク、スケジュール実行、Cowork内プロジェクト（独立したファイル/リンク/指示/メモリ）などが“Key capabilities”として列挙される。 ⁵⁴

「コンピュータ操作（computer use）」と Dispatch の組み合わせにより、スマホから投げたタスクをデスクトップ側で実行させる体験が提示され、研究プレビューで macOS 限定などの制約がある。 ⁵⁵

なお、デスクトップアプリの説明では Cowork を「クラウドVM上で独立環境としてバックグラウンド実行するエージェント」と表現する一方、サポート記事では「デスクトップ上でローカルファイル/コネクタを使って作業し、履歴はローカル保存」とも記述される。実装の詳細（どこまでがVM内/端末内か、境界でのデータ移動方式）は公開資料だけでは完全に確定できないため、下図では“ハイブリッド（クラウド実行+端末資源への許可ブリッジ+必要時に画面操作）”として整理する。 ⁵⁶

セキュリティ/プライバシー・統制 Cowork はエージェント性とインターネットアクセスに固有のリスクがあるとして、安全な使い方（機密フォルダを避ける、信頼できるサイト/コネクタ/MCPのみ、スケジュールは低リスクから、など）が明示される。削除は明示許可が必要、アプリごとのアクセス許可、内容分類器での注入検知なども挙げられる。 ⁵⁷

Team/Enterprise では「Cowork 履歴はローカル保存」「監査ログ/Compliance API/データエクスポートに Cowork 活動が載らない」ため、規制業務に使わないよう注意される。組織はトグルで有効/無効を切り替えられるが、ユーザー単位の細粒度制御は限定的とされる。 ⁵⁸

統合（プラグイン/コネクタ） Connectors は Claude/Cowork/Claude Desktop/モバイル等で使え、MCP によりカスタム接続も可能。 ²⁵

プラグインは「スキル+コネクタ+スラッシュコマンド+サブエージェント」を束ね、職種別の専門家化を狙う。マーケットプレイス配布（自社内配布）も提示され、Anthropic が自社利用している複数プラグインのオープンソース化も言及される。 ⁵⁹

価格/提供条件 Cowork は Pro/Max/Team/Enterprise の有料プランに含まれる旨が価格表に明記される。 ⁶⁰

最適ユースケース（例） 定型レポート作成（週次/日次をスケジュール実行）、フォルダ整理、請求書/スクリプトの表形式化、会議ノートから報告書草案、複数ツール横断の要約（Slack/メール/ドライブ等）、“成果物”を中心にした反復業務の自動化。 ⁶¹

制約・注意 監査/エクスポート非対応などの統制制約があるため、規制・監査要件の強い業務には不向き。

⁵⁸

スケジュール実行は“PCが起きていてアプリが開いている間のみ”など運用前提がある。⁶²
 computer use は研究レビューで誤動作や再試行が必要になり得る旨が述べられている。⁶³

ワークフロー例（プロンプト例）

(フォルダ整理) Downloads フォルダを整理したい。
 - まず分類案（新規フォルダ、命名規則、削除候補、要確認）を提案
 - 私の承認があるまで変更しない
 - 変更後は「何をどこに移したか」のログを残す
 作業対象フォルダ：/Downloads

(週次レポート自動化) 毎週金曜に、分析ダッシュボードの数値を取得して週次テンプレに反映し、要点3つをメモにまとめて。
 - データが取れない場合は“どこで詰まったか”を報告して止まる
 - 送信/投稿など不可逆操作はしない

機能・技術比較

全体アーキテクチャの整理（概念図）

```

flowchart LR
  U[ユーザー] -->|会話/指示| C[Claude アプリ: Chat]
  U -->|実装タスク| CC[Claude Code]
  U -->|知識労働タスク| CW[Claude Cowork]

  C -->|Tools: Web search, connectors, artifacts 等| T[ツール層]
  CC -->|file/bash/web/mcp| T
  CW -->|connectors/plugins/computer use| T

  T -->|推論| M[Claude models\n(0pus/Sonnet/Haiku)]
  M --> P[(実行基盤)]
  P -->|Anthropic直| A[Claude API / Apps]
  P -->|第三者クラウド| X[Bedrock / Vertex / Foundry 等]
  
```

この図のうち、Connectors は「Claude/Cowork/Claude Code/API」まで共通の統合レイヤとして位置づけられ、MCPによりカスタム接続も可能とされる。⁶⁴

比較表（要点）

項目	Claude	Claude Code	Claude Cowork
主目的	会話中心の汎用支援・成果物作成	開発タスクの自律実行（実装→PR）	知識労働の自律実行（成果物納品）
主な利用面	Web/モバイル/デスクトップ	端末/IDE/デスクトップ/ブラウザ/Slack/CI	デスクトップ（+Dispatchでモバイル起点）

項目	Claude	Claude Code	Claude Cowork
“実行”の深さ	原則は提案/生成（ツールで拡張）	ファイル編集・コマンド実行・統合が中核	ファイル/アプリ/コネクタ横断で完遂志向
代表的入出力	テキスト/画像→テキスト+Artifacts	NL指示+repo→diff/テスト/PR	NL指示+フォルダ/コネクタ→文書/表/整理など
統合	Connectors/MCP、Slack等	MCP、Slack、Chrome、CI/CD等	Connectors/MCP、Plugins、computer use 等
統制・監査	プランによりSSO/監査等	権限/サンドボックス/監査/ZDR等	Team/Enterpriseでも監査ログ等は未対応（注意）
向く利用者	全職種/個人～チーム	開発者・開発組織	非エンジニア含む知識労働者/業務運用者

（注）Cowork の監査・規制適合については、公式サポートが「監査ログ/Compliance API/データエクスポートに載らないため規制業務に使わない」と明示する。⁵⁸

入出力モダリティの補足

画像入力は Claude アプリの「テキストと画像の分析」機能として価格表に明示されている（モデル側の Vision 機能とも整合）。⁶⁵

音声は「音声モード」としてアプリ機能に列挙されるが、モデルAPIが音声を直接受けるとは本レポートの一次情報からは断定できないため、UI機能として扱う。⁶⁶

料金と導入形態

公式価格

アプリ（個人/チーム） Free：\$0、Pro：月\$17（年契約換算、月次は\$20）、Max：月\$100～（使用量倍率選択）と記載され、Pro には Claude Code と Cowork が含まれる。Team はシート課金（年契約で \$20/席・月次\$25/席、Premiumは年 \$100/席 など）、Enterprise は \$20/seat + 使用量は API レートで従量とされる。

⁶⁷

API（トークン課金）モデル価格は Opus 4.6（Input \$5/MTok, Output \$25/MTok）、Sonnet 4.6（Input \$3/MTok, Output \$15/MTok）、Haiku 4.5（Input \$1/MTok, Output \$5/MTok）などが掲示され、プロンプトキャッシュ（read/write）も別料金で明示される。⁶⁸

ツール価格として Web search は \$10/1K searches、コード実行は 1組織あたり日次50時間無料+超過 \$0.05/時間/コンテナ等が掲示される。⁶⁹

またバッチ処理（Batch processing）で 50% 節約と掲示され、サービスティア（Priority/Standard/Batch）も示される。⁶⁹

第三者プラットフォームの価格 Claude は AWS Bedrock / Google Vertex AI / Microsoft Foundry でも提供され、公式ドキュメントは各社価格ページ参照を促す。また Bedrock/Vertex では “global vs regional endpoints” を導入し、リージョナルは 10% プレミアム等のルールが説明されている。⁷⁰

典型的な導入形態（クラウド/オンプレ/ハイブリッド）

クラウド（SaaS/直API） Claude アプリ、Claude API は基本的にクラウド提供で、SDKから Messages API 等と呼ぶ。²⁴

クラウド（自社クラウド内での利用に寄せる）Bedrock や Vertex AI で Claude を呼ぶ構成が公式に整備され、データレジデンシ（リージョナル経路）、活動ログ（プロバイダ側ログ）、ペイロード制限などクラウド固有の制約が明記される。⁷¹

ハイブリッド（ローカル実行+クラウド推論/中継） Claude Code はローカルで実行しつつ推論はクラウド API、Remote Control は“ローカル実行のまま”Web/モバイルから中継操作できる。Cowork もデスクトップ資源（ローカルファイル/アプリ）とクラウド側エージェント/ツール実行を組み合わせる形で説明されており、実務的にはハイブリッド運用になる。⁷²

オンプレ（単独提供） オンプレ単独提供（モデル/推論基盤を顧客環境に完全設置）を示す一次情報は、本レポートの範囲では確認できない。代替として「クラウドプロバイダ経由」や「ローカル実行面の強化（Remote Control等）」が提供されている。⁷³

導入事例とケーススタディ

（日本）野村総合研究所⁷⁴ 日本語の複雑な業務文書レビューを AWS Bedrock 上の Claude で自動化し、レビュー時間 50% 削減などを報告。モデル比較を実業務テストで行った旨も記載される。⁷⁵

（日本）クラスメソッド⁷⁶ Claude Code を用いた開発効率化で、コードレビュー時間の大幅削減やスクリプト作業の短縮などを事例として掲載。⁷⁷

（日本）楽天⁷⁸ Claude Code による自律コーディング（長時間の自律作業、Time-to-market短縮、精度指標など）を具体的な成果として提示し、複数セッション並列など運用面の示唆も含む。⁷⁹

（米国）Notion⁸⁰ Claude を基盤に AI 機能を提供し、情報探索時間の削減などの導入効果を事例として提示。⁸¹

（米国）Spotify⁸² Claude Agent SDK を自社の大規模移行オーケストレーションに統合し、移行工数の最大90%削減、月650+ PRマージ、Slack起点での自律変更トリガなどを掲載。⁸³

（外部大手統合例）Microsoft⁹ Microsoft は「Copilot Cowork」として、Claude Cowork の技術を Microsoft 365 Copilot に統合した旨を公式ブログで述べている（“技術の統合”という採用形態の例）。⁸⁴

（日本語の製品動向報道）Cowork/Claude Code の computer use 強化や Dispatch 連携などについて、日本語メディアが一次発表（公式ブログ）を参照しつつ概要を報じている。⁸⁵

意思決定ガイド

ニーズ別の推奨（実務判断の近道）

文章・要約・企画・意思決定を速く回したい

Claude (+Artifacts/Research) を基盤にし、必要に応じて Connectors を追加する。成果物のテンプレ化やミニアプリ化を狙うなら Artifacts を優先。⁸⁶

「コードを書いて終わらせる」ことが目的（実装~PR、テスト、リファクタ）

Claude Code を第一候補にし、権限/サンドボックス/監査を最初に設計する。Slack 起点の依頼運用や Web 版での並列作業も選択肢。⁸⁷

非エンジニアが“反復する知識労働”を成果物として丸ごと任せたい（週次、資料化、整理）
Cowork を第一候補にする。ただし監査・規制要件が強い部署では、Cowork を避けるか、対象業務を限定し、代替として Claude（会話中心）＋監査可能な統合（コネクタ/ログ）へ寄せる。 88

データ保持を極小化したい（開発組織、機密コード）
Enterprise 経由の Claude Code における ZDR を検討し、ZDR 対象外（Cowork等）を切り分ける。 89

データレジデンシ/クラウド統制（自社クラウドで閉じたい、リージョン固定）
Bedrock/Vertex/Foundry 経由を検討し、グローバル/リージョナル、ログ、ペイロード制限、価格プレミアムを設計に織り込む。 90

「どれを選ぶか」最終チェック（短い質問）

成果物の主体は何か？（文書/調査→Claude、コード→Claude Code、ファイル整理や定型レポ→Cowork）
91

実行権限をどこまで渡すか？（ローカル編集/削除/アプリ操作が必要なら Cowork/Code、不要なら Claude 中心） 92

監査・エクスポートが必須か？（必須なら Cowork は避け、Enterprise＋監査可能面に寄せる） 93

運用の形は？（単発支援→Claude、日々の開発ループ→Claude Code、スケジュール含む反復運用→Cowork） 94

1 2 3 11 16 17 20 60 65 66 67 <https://claude.com/ja-jp/pricing>
<https://claude.com/ja-jp/pricing>

4 12 33 34 36 48 87 91 <https://code.claude.com/docs/en/overview>
<https://code.claude.com/docs/en/overview>

5 13 51 52 54 58 78 80 88 <https://support.claude.com/en/articles/13345190-get-started-with-cowork>
<https://support.claude.com/en/articles/13345190-get-started-with-cowork>

6 14 22 24 41 <https://platform.claude.com/docs/en/home>
<https://platform.claude.com/docs/en/home>

7 84 <https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365/blog/2026/03/09/copilot-cowork-a-new-way-of-getting-work-done/>
<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365/blog/2026/03/09/copilot-cowork-a-new-way-of-getting-work-done/>

8 71 90 <https://platform.claude.com/docs/en/build-with-claude/claude-on-amazon-bedrock>
<https://platform.claude.com/docs/en/build-with-claude/claude-on-amazon-bedrock>

9 61 <https://claude.com/product/cowork>
<https://claude.com/product/cowork>

10 15 70 73 74 <https://platform.claude.com/docs/en/about-claude/pricing>
<https://platform.claude.com/docs/en/about-claude/pricing>

18 21 82 86 <https://support.claude.com/en/articles/9487310-what-are-artifacts-and-how-do-i-use-them>
<https://support.claude.com/en/articles/9487310-what-are-artifacts-and-how-do-i-use-them>

19 30 31 <https://support.claude.com/en/articles/11088861-using-research-on-claude>
<https://support.claude.com/en/articles/11088861-using-research-on-claude>

23 <https://anthropic.com/claude-sonnet-4-6-system-card>
<https://anthropic.com/claude-sonnet-4-6-system-card>

25 64 <https://support.claude.com/en/articles/11176164-use-connectors-to-extend-claude-s-capabilities>
<https://support.claude.com/en/articles/11176164-use-connectors-to-extend-claude-s-capabilities>

26 75 <https://claude.com/customers/nri>
<https://claude.com/customers/nri>

27 <https://claude.com/docs/connectors/slack>
<https://claude.com/docs/connectors/slack>

28 <https://support.claude.com/en/articles/12260368-using-incognito-chats>
<https://support.claude.com/en/articles/12260368-using-incognito-chats>

29 32 <https://privacy.claude.com/en/articles/10023580-is-my-data-used-for-model-training>
<https://privacy.claude.com/en/articles/10023580-is-my-data-used-for-model-training>

35 37 <https://code.claude.com/docs/ja/claude-code-on-the-web>
<https://code.claude.com/docs/ja/claude-code-on-the-web>

38 50 72 <https://code.claude.com/docs/en/remote-control>
<https://code.claude.com/docs/en/remote-control>

39 <https://code.claude.com/docs/en/slack>
<https://code.claude.com/docs/en/slack>

40 <https://code.claude.com/docs/en/chrome>
<https://code.claude.com/docs/en/chrome>

42 <https://code.claude.com/docs/en/authentication>
<https://code.claude.com/docs/en/authentication>

43 46 <https://code.claude.com/docs/en/security>
<https://code.claude.com/docs/en/security>

44 <https://code.claude.com/docs/en/permissions>
<https://code.claude.com/docs/en/permissions>

45 49 <https://code.claude.com/docs/en/sandboxing>
<https://code.claude.com/docs/en/sandboxing>

47 89 <https://code.claude.com/docs/ja/zero-data-retention>
<https://code.claude.com/docs/ja/zero-data-retention>

53 76 94 <https://support.claude.com/en/articles/13947068-assign-tasks-to-claude-from-anywhere-in-cowork>
<https://support.claude.com/en/articles/13947068-assign-tasks-to-claude-from-anywhere-in-cowork>

55 63 <https://claude.com/blog/dispatch-and-computer-use>
<https://claude.com/blog/dispatch-and-computer-use>

56 <https://code.claude.com/docs/en/desktop-quickstart>
<https://code.claude.com/docs/en/desktop-quickstart>

57 62 92 <https://support.claude.com/en/articles/13364135-use-cowork-safely>
<https://support.claude.com/en/articles/13364135-use-cowork-safely>

59 <https://claude.com/blog/cowork-plugins>

<https://claude.com/blog/cowork-plugins>

68 69 <https://claude.com/pricing>

<https://claude.com/pricing>

77 <https://claude.com/customers/classmethod>

<https://claude.com/customers/classmethod>

79 <https://claude.com/customers/rakuten>

<https://claude.com/customers/rakuten>

81 <https://claude.com/customers/notion>

<https://claude.com/customers/notion>

83 <https://claude.com/customers/spotify>

<https://claude.com/customers/spotify>

85 <https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2095861.html>

<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2095861.html>

93 <https://support.claude.com/en/articles/13455879-use-cowork-on-team-and-enterprise-plans>

<https://support.claude.com/en/articles/13455879-use-cowork-on-team-and-enterprise-plans>